

林 千絵

JSAPD 2018年1月13日

Title: Interdisciplinary Periodontal Therapy

昨今の先進国における歯牙は何十年も前に比べてより保存され、歯周炎による歯牙の喪失は減少している。これには口腔衛生の普及、歯周組織再生療法による歯周組織の積極的保存、インプラントによる義歯の鉤歯となったかもしれないことによる機械的外傷の減少、矯正治療の普及による咬合性外傷の減少などが関与するものであると日々の臨床を通じて感じている。総じてこれは **Interdisciplinary Approach** による治療による効果であると言えよう。

私が最近感じることは歯牙の保存がよく、若い頃から定期的なメンテナンスを受けている患者における歯周組織の **breakdown** が起こりやすい部位に特徴があるという事である。う蝕、歯周病予防が徹底されている患者の歯周組織の **breakdown** 進行を未然に診断するのは定期的なメンテナンスとそれを担う歯科衛生士との連携なくしては成り立たない。メンテナンス時に必ず歯科衛生士にチェックしてもらいたい部分や、**breakdown** が進行する前の歯周組織再生療法など日々の臨床での私の取り組みをお話したい。

最適な歯周組織を作り上げて、維持していく。時の流れによるものと諦めない、常に最高の環境で歯牙を維持していくために私が何に気をつけているか。そしてそれが長期予後にどの様に影響していくのかななどをディスカッションできればいいと思っている。